

昭和47年4月5日 発行



おくしり

No.87

発行 奥尻町役場

印刷 函館ぼうに印刷



新入小学児童を交通事故から守ろう!!

春の交通安全道民総ぐるみ運動が四月六日から実施されたのに伴って、本町でも同時にこの運動が行われました。

この時期は、新入学期にあたり、通行に不慣れた学童や幼児の悲惨な事故がないよう、この運動では、

とくに「新入小学児童を交通事故から守ろう」を重点実施項目とし期間中（四月六日～十五日）宮本奥尻警察官派出所長をはじめ、地元交通安全協会の指導員などが街頭に立ち、学童、幼児に対し、正しい横断、右側通行、路上遊戯の防

止などまた、運転者に対し、学童や幼児の歩行中の事故防止と、飛びだしに対する早期発見および安全運転を呼びかけるなどこの運動の趣旨が広く町民に徹底されるよう積極的な効果ある運動が展開されました。

町の人口	
(47年3月末現在)	
総人口	6,270人
男	3,179人
女	3,091人
世帯数	1,542

奥尻空港の早期実現を



奥尻空港建設促進期成会

1972.4

「人間能力の開発」

「産業の体質強化」を重点施策に

「明るい生活の確立」

昭和四十七年度町政方針



昭和四十七年第一回定例町議会が三月十日に招集された。

上埜町長は、冒頭、人間能力の開発、産業の体質強化、明るい生活の確立を二本の柱に、町民が、真のしあわせと生きがいを感じることで、できる社会の実現をめざし、人間性豊かな町政を強力にすすめる」と、町民生活に密着したことの町政執行方針を示した。

総合開発が町政上、最も重要な課題といわねばなりません。

私は、昭和四十七年度が本町総合開発計画推進の第二年度にあたりますので、この達成を期するため、開発関係予算の確保に全力を傾注いたしましたところであります。

幸い、関係者の努力によりまして、港湾、漁港、道路等の予算は伸長し、本町の開発が一層推進されるものと期待されるところであります。

私は今後とも町内における社会資本の充実については長期的展望に立って、しかも緩急を慎重に配慮して、その推進をはかって参る所存であります。

さて、わが国の経済状態は、長期停滞の影響から、いまだに不況感から脱却できず、なかんづく国際通貨問題が昨年十二月十八日、多国間調整に一応成功し、通貨不安を収拾したものの、政府は明年

度予算の編成期に入ったため長期の経済見通しのないまま、当面の不況脱出をはかる意味から公債政策を積極的に活用し、社会資本の整備を促進するほか、財源の重点的効率的配分と費用負担の適正化に努めることにより、通貨調整に伴う、国際経済環境の新たな展開に即応しつつ、当面する国内経済の停滞をすみやかに克服し、国民福祉の向上を志向するわが国経済社会の新しい展開を期そうといたしております。

したがってこれらの基本的見地から、今後公共事業等の積極的施策の推進によって、わが国経済の動向は遅くとも年度後半に至って回復過程に入っていくものと見込まれております。

このような経済的長期停滞をきたした関係から、明年度の地方財政にあたる影響は極めて大きく特に本町のような財政的に貧弱な町村にあっては常に国及び道の財政的指向に大きく左右されるところであります。本町の総合開発を積極的に推進するためにもこの難関を突破することが最も重要といわねばなりません。

自治省は、明年度における地方財政の見通しの極めてきびしいことに鑑み、地方自治体の予算編成上の留意すべき点を次のように指導いたしております。

その一は、経済の推移は全体

忘れず納めましょう

4月 固定資産(5月1日) 第1期の納期です
軽自動車税(5月1日)

自主納税で、明るいまちづくりを進めましょう。



としてなお流動的であり、地域経済の動向をも併せて考慮し、機動的かつ弾力的な対応ができるよう配慮すること。

その第二は、経済支出の効率化と財源の重点的な配分に徹すること、

その第三は、地方税の徴収の確保、使用料、手数料の引上げ等、費用負担の適正化をはかること、

その第四、地方債の消化の円滑化をはかること、ともに、後年度の公債負担の状況についても検討を加える等、計画的な公債管理に意を用いること。

その五は、公共投資の拡大については、短期的な需要効果のみに着目することなく、地域における長期的かつ計画的な社会資本整備の構想と適合性を保たせるよう、その総合的な事業効果を重視することなどでありま。

以上が明年度予算策定上の経済的背景の概要であります。

私は本町における明年度の予算編成については、これらの経済的背景はもちろん、政府並びに道の施策などの関連を考慮しつつ取りまとめをいたしたわけであります。

その結果、昭和四十七年度における予算規模は、一般会計において、五億五千八百五拾参万一千円、特別会計において、一億一千五百五拾八万三千円、企業会計において、一億八千二百四拾八万四千円

となり予算総額「において、八億五千六百五十九万八千円となったところでありま。

したがって昨年統一選挙後六月議会において議決いただきました予算額と対比してみるに総体予算規模において三十四、五パーセントの伸び率を示すところと相なつた次第であります。

次に昭和四十七年度における重点施策についてのべることにいたします。

私は、前年度にひきつぎ『人間能力の開発』『産業の体質強化』『明るい生活の確立』を重点施策として、この達成のため必要な事業を進めて参る所存であります。

まず第一は人間能力の開発のため、国家民族の進歩、繁栄はもとより本町の飛躍的な発展をはかるためには、人間能力の開発が何よりもまして肝要であります。

私はすべての町民がたくましい精神力と体力を錬成し、深い郷土愛と自主独立の気概にあふれ、時代の進展に適應し得る能力を備えていくよう配慮して参る所存であります。

次代を担う青少年を健全に育成することは、私どもに課せられたもっとも大きな責務であると存じます。私はこのため人間形成上重要な時期を過ごす学校生活期特に重視し、学校教育の充実をはか

るため施設の適正配置を推進し、勉学環境を整備して教育の質的向上をはかり、輝やかな将来に向つて青少年が健やかに成長するよう全力を傾注いたして参る所存であります。

そのため南部地域の青苗及び松江小学校の統合を促進し、合せて青苗小学校の建築を継続実施いたします。北部地区においては、今年とり合えず奥尻及び球浦小学校の統合を実現させ、ひいては赤石小学校の統合も考慮しつつ奥尻小学校の統合校舎新築の着工を計画したわけであります。

社会教育につきましては最近婦人活動が非常に活発であります。これは、ご同慶の至りでありま。

私は婦人が教養と情操を深め、その能力を向上し、広く社会の進展を眺め、よき家庭人としての今後に大きく期待をいたして参ります。

スポーツの振興については、体育協会を中心とした振興は、もちろん強化いたして参りますが、既に南部地区においては数年前から町民スポーツ大会が開催されているところであり、北部地区においても、昨年第一回大会が開催されております。

スポーツの精神は、スポーツを通して、たくましい精神と体力を養うことにあります。同時にまた

参加する町民間の意思の疎通を図られる事にも非常に大きな意義があるものであります。

私は近い将来において南北町民スポーツ大会が全町スポーツ大会に発展されることを強く期待をいたしているところであります。

したがってこれらの観点から今後における社会教育の充実には一層の配慮をいたして参ります。

第二は、産業の体質強化のための施策であります。

本町の産業経済は、その年度によって、若干の変動は生じておりますが、概ね順調に推移いたしております。しかしながら、なお多くの問題をかかえております。

私は、このため総合開発計画の示すところにしたがって各種の振興策を推進するため、事業種目ごとに具体的な実施計画を樹立し積極的に対処して参る所存であります。

特に産業開発の根幹をなす道路、港湾、漁港等の四十七年度予算につきましては、相当伸長いたしておりますが、年々漁業形體が変化して参りますので長期的展望に立つて計画改定などを進めて参ります。

なお将来とも漁港築設の見込めない地域については、漁船漁具保全施設整備五ヶ年計画を策定し、その整備を促進して、地域住民の生活安定が期せられるよう配慮い

ます。

呼び返せ父祖のきずいた北方領土

- ・ハボマイ諸島・シコタン島・クナシリ島・エトロフ島は日本固有の領土です。
- ・北方領土の復帰運動に、国民世論を結集しよう。



たして参る所存であります。

漁業については、本町の基幹産業であることに鑑み、四十七年度は平磯開発の志向について専門的調査を実施いたします。私は、この調査の進展によって、漁場開発の展望が開られ、波及的效果のなかから、ひいては安定漁業への飛躍として、種苗センターの建設などに展開するよう期待するところであります。

次に私は本町における水産漁獲物の付加価値を高めるための隘路の打解と加工企業体の可能性について、関係者と協議を重ねて参ります。この対策は、今後における漁家経済安定化対策に大きく波及するものであり、過疎対策上極めて重要な施策でありますので、この実現に積極的に対処いたして参ります。

農業については、総合農政の展開の意味から適地適作を主張し、道南一帯を米作適地として関係方面に要望しているところでありますが、それと合わせて、專業化並びに多角経営化など経営体質の改善をはかるべく計画を進めて参ります。

そのため、畜産の振興策として草地改良の促進及び、関係事業の推進はもちろん、用地確保等の対策に深く配慮いたして参ります。産業の振興、特に観光産業の振興に関連する空港の設置について

は、昭和四十八年度の実現を期して運動を展開いたして参ります。数年來注目を集めて参りましたウラン鉱調査につきましては、昨年実施したボーリング調査などの結果、ある程度の鉱床分布が判明してきているようであります。本年度も引続き調査を実施する予定であります。エネルギー革命の先端をゆく重要資源でありますので、その成果を注目し、協力体制をとって参ります。

次に第三は、明るい生活の確立についての施策であります。近年町民の生活水準が向上して参りましたが、その反面には生活形態の変化による核家族傾向からくる老人対策、あるいは、交通事故の激増など、町民生活を脅かす事態もみられるところであり参ります。

このような実情に対し私は社会福祉の充実にとめると共に町民の安全と快適な生活を確立すべく努力いたしたいと存じます。この意味から私は老人対策については、先の議会で議決いただきました七十才以上の老人医療費の無料化については、所得制限を撤廃し、完全実施をすることといたします。

なお、敬老会の経費補助につきましては、現在まで七十五才以上を対象としておりましたが、これを七十才からと補助額を倍額といたしたところあります。本

町開基九十三年に及ぶ開発歴史の中にあってご努力されて来られたご老人のみなさんについては、今後とも充分な配慮を重ねて参る所存であります。

明るい生活を維持するためには、健康でなければなりません。したがって私は今後とも病院事業については充分な配慮をいたして参りますが、財政的には極めて困難な状況にありますので引続き一般会計より、一千二百万程繰出すことといたして参ります。

交通安全対策につきましては、予想以上の交通災害が既に発生し、なお今後においても交通事故の多発が予想されるので人命尊重の見地から、このような事態の防止に最善の努力を傾けて参ります。交通事故対策の根本は、ひろく町民の間に人命を尊重し、法を守るという意識の高揚がもっとも必要でありますので、安全施設の整備はもちろん交通関係諸団体と連携を保ちながら交通秩序の確立に一段と意を用いて参ります。

なお、災害の起こらない町政、快適な生活を推進するため、海岸保全、河川改良、町道改良舗装などを継続実施して参ります。

昭和二十五年以来、本町の開発並びに町民生活にとって大きく貢献いたして参りました電気事業については、長期的展望に立って、町民の福利向上をめざして、昭和

四十八年度から施設の全部と経営の一切を北海道電力へ移管することといたします。したがって昭和四十七年度においては、水力発電設備の自動化、配電設備の全面改修を行うとともに、部内体制についても逐次移管の体制を整備いたして参ります。

最後に私は、地方自治のあり方についてその所信をのべます。近時我が国においては、都市化の進展、交通通信の発達などに伴い住民生活の領域が拡大し、このため地域住民の連帯感が薄れ、住民の自治意識に変化があらわれて参っております。

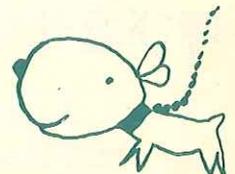
本町においては、この現象は比較的少ないようではありますが、自治行政の衝にある者は、地方自治の本旨を体し、住民意識の把握についても経済社会の動向を見極め住民と一体となって、新しい町づくりにも邁進しなければなりません。

私自からもあらためて、地方自治が民主政治の基盤であることに深く思いをいたし、地方自治の堅実な発展のために最善の努力をいたす所存であります。

以上昭和四十七年度における町政執行に関する所信を申し上げたところでありますが、議員各位におかれましては町民が心から熱望する町政の推進に特段のご協力を、お願いいたします。

犬の登録をしましょう

- ▶生後3ヶ月以上の犬を所有している方は登録が必要です。
- ▶登録をしていない犬は、野犬として取扱われます。



登録受付期間 4月1日から30日まで
 料金 新規 300円 更新 200円

奥尻町

町の人事

▽は新
()は旧または採用等

- ▽総務課長 森 厚(青苗支所長)
- ▽交通対策準備室長 松塚 政人(総務課長)
- ▽青苗支所長兼務助役 鎌田 正勝
- ▽町民課長兼衛生係 野口 享(二電政課電気係)
- ▽電政課青苗出張所長事務取扱 下倉 正昭(電政課青苗出張所係)
- ▽青苗支所係荒谷 時夫(電政課青苗出張所係)
- ▽電政課電政係 和田八千代(電政課青苗出張所係)
- ▽総務課庶務係 和田かよ子(電話交換手)
- ▽教育委員会出向 三上千保子(用)
- ▽総務課庶務係「電話交換手」 「原ゆきえ(用)
- ▽国保病院技術師 林 勇一(用)
- ▽公衆浴場管理人 小山 与作(用)
- ▽青苗保育所係 小辻邦子(用)
- ▽青苗保育所係 西田千根子(用)
- ▽奥尻保育所係 青田 正江(用)
- ▽奥尻保育所係 奥尻保育所係 安孫子ひとみ(用)
- ▽青苗保育所係 手木村 礼子(用)
- ▽松江保育所係 手小黒真理子(用)
- ▽国保病院栄養士 山口 芳子(用)
- ▽国保病院栄養士 池田ひな子(用)
- ▽青苗診療所技術師 上野 真一(用)
- ▽公務補 岩佐 栄子(用)
- ▽国保病院炊事婦 森口 和子(用)
- ▽退職 上田 康夫(青苗出張所係)
- 退職 齊藤 聖子(青苗保育所係)
- 北 サトウ(青苗保育所係)
- 玉井 小よこ(奥尻保育所係)
- 工藤登志子(教育委員会)
- 幾原みさ子(国保病院看護婦)
- 小林 信子(国保病院看護婦)
- 蝦名 律子(国保病院看護婦)
- 大村 勝雄(電政課技術師)
- 藤谷 謙吾(電政課青苗出張所係)
- 小山 与作(電政課主任技術師)
- 齊藤 養吉(電政課技術師)
- 山下正一郎(電政課技術師)

商業統計調査に

協力を

通商産業省では、昭和二十七年以降二年ごとに行なっている商業統計調査を五月一日現在で実施します。

この調査は、統計法に基づく指定統計調査で、今回は第十一回目に当たり、全国の商業を営む全事業所をもれなく調査するものです。おもな調査項目は、商店名、所在地を始め経営組織、従業者数、商品販売額、商品手持額、仕入先別割合、販売先別割合、営業経費など、所定の調査票に対象商店が自ら記入する自計申告の方法によ

つて行なわれます。

この調査は、商店の分布状況、商業活動の実態などを明らかにすることを目的としており、この結果は、行政上の基礎資料となるほか、一般業界でも経営の指針として広く利用されているものです。

特に近年における商品流通量の増大に伴い、わが国商業の健全な発展を図ることが重要な課題となっているおりでもあり、広く関係方面から期待されているものです。調査は、知事によって任命された統計調査員が、各商店を訪問して調査票の記入をお願いすることになっていきますので、調査の重要性をご理解いただき協力ください。

国民年金に加入を

最近、老人福祉の問題について一般住民の関心が高まってきているようです。

これは、身近かに不幸な老人の話の聞いたり、見たりするにつけ、なんとかしてこういった人々を助けてあげたいという気持が自然にわいてくるからでしょう。

ところが、働きざかりの若い人たちのなかには、自分自身の老後の問題について、あまり真剣に考えていない人がかなりいるようです。若い人たちにとっては、むしろこの方が当然といえるかもしれません、ここでちょっと将来のことを考えてみましょう。

わが国の老人問題は、近年における高齢人口の増加と家族制度の变革など社会情勢の変化により、

年ごと その複雑さを増してきています。したがって、自分

自身の老後生活の安定は、貯金をするとか年金制度を利用するとか、若いときから将来に備えて準備をしておかなければなりません。準備をするといつても貯金をすることとはなかなか大変なことなので、国民年金を利用することをおすすめします。特に、まだ加入していないサラリーマンの奥さんは、ぜひ加入の手続きをしましょう。

また、国民年金は強制的に加入しなければならぬ人と希望により加入できる人に分かれており、農業や漁業に従事している人、営業の人やその家族は男女を問わず、必ず加入しなければなりません。何んらかの事情で加入もれとなっているかたは、いますぐ役場に申しでてください。

自動車税の税率が変わりました

昭和28年から本道の自動車税は冬期間の積雪のため運行が困難という理由で、全国の標準税率より30%低い税率となっていました。道路の除雪率も次第に向上して「30%軽減」は実情に合わなくなりましたので本年4月1日税率が改正されました。

この改正によって松山支庁管内は「7.5%軽減」になりましたのでお知らせします。

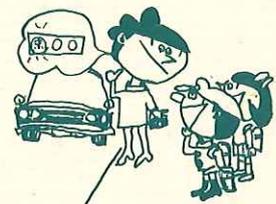
◎おもな例をあげると次のとおりです。

区分	全国標準税率	改正前の率(30%軽減)	改正後の率(7.5%軽減)
乗用車 自家用 排気量1,000~1,500cc	21,000円	14,700円	19,420円
	24,000円	16,800円	22,200円
トラック 普通型で最大積載量が1~2トン	7,500円	5,260円	6,940円
5~7トン	18,000円	12,600円	16,640円

なお税率等詳細については、お問い合わせ下さい。松山支庁地方部税務課

新入学(園)児童を交通事故から守ろう

- 交通ルールは実地で教えましょう
- すこしぐらい遠まわりでも横断歩道を利用させましょう
- 忘れ物のないよう早めに登校させましょう



事業名	事業の内容	事業費
青苗簡易水道改良事業	取水口改良 2ヶ所 ろ過池増設 1基 配水管増設 L=2,300m	千円 11,900
奥尻簡易水道改良事業	取水口改良 1ヶ所 貯水池改良 1基	5,000
稲穂簡易水道新設事業	給水予定人口 600人 配水管延長 2,000m	20,000
赤石簡易水道新設事業	給水予定人口 500人 配水管延長 4,000m	27,000
谷地簡易水道新設事業	給水予定人口 600人 配水管延長 1,500m	18,000
	上下水道事業合計	531,900

奥尻町総合開発計画のあらまし

広報3月号からお知らせしております奥尻町総合開発計画のあらましについて、今月は「第2. 明るく、そして豊かな町民生活の確立」についての開発根幹事業に関する計画を紹介します。

第2 明るく、そして豊かな町民生活の確立

開発根幹事業に関する計画

住 宅

事業名	事業の内容	事業費
公営住宅建設事業	簡易耐火構造2階建 1種 80戸 2種 60戸	千円 182,000
低家賃住宅定建設事業	簡易耐火構造2階建 2種 24戸	33,000
給与者住宅建設事業	簡易耐火構造平家建 教職員住宅 30戸	45,000
	簡易耐火構造2階建 町職員住宅 15戸	22,500
	簡易耐火構造平家建 自衛隊職員住宅 10戸	18,000
民間住宅建設事業	民間持家 461戸	106,000
	住宅事業合計	406,500

宅 地

事業名	事業の内容	事業費
宅地造成事業	塩釜沢地区 35,000㎡	千円 50,000
	青苗地区 50,000㎡	70,000
	宅地事業合計	120,000

保健衛生

事業名	事業の内容	事業費
噴霧機導入事業	防疫用ジェットエンジン噴霧機 3台	千円 500
	保健衛生事業合計	500

清 掃

事業名	事業の内容	事業費
し尿処理施設設置事業	し尿消火槽 10kl/日 1基	千円 44,000
ごみ処理集集整備事業	大型船底ダンプ 4.5トン 1台	1,420
	清掃事業合計	45,420

上下水道

事業名	事業の内容	事業費
青苗地区下水道整備事業	コンタクトスタビリゼーション方式処理施設 1基 L=3,500m	千円 250,000
奥尻地区下水道整備事業	コンタクトスタビリゼーション方式処理施設 1基 L=2,800m	200,000

事業名	事業の内容	事業費
復旧治山事業	山腹 宮津 41ヶ所	千円
	山腹 稲穂 3ヶ所	
	湯浜 40ヶ	
	松江 3ヶ	
	赤石 16ヶ	
	奥尻 19ヶ	
	宮津 8ヶ	
予防治山事業	山腹 稲穂 5ヶ所	1,588,000
	湯浜 200ヶ	
	米岡 66ヶ	
	松江 118ヶ	
	赤石 21ヶ	
	奥尻 189ヶ	
	宮津 93ヶ	
	山腹 湯浜 42ヶ所	
	米岡 8ヶ	
	松江 9ヶ	
	赤石 3ヶ	
奥尻 20ヶ		
宮津 10ヶ		
防災林造成事業	防汐林 青苗外 1,325m	178,000
	防風林 青苗外 15,190m	
河川改修事業	青苗川 延 6,000m	188,000
	塩釜川 〃 1,300m	
	釣懸川 〃 600m	
	藻内川 〃 600m	
	幌内川 〃 300m	
治山・治水事業合計		3,666,000

交通安全

事業名	事業の内容	事業費
	安全標識整備 運転技術向上対策 (運転試験場整備)	千円 3,000
交通安全事業合計		3,000

消 防

事業名	事業の内容	事業費
消防施設 整備事業	消防本部兼車庫新築 (奥尻)	千円
	鉄骨軽量ブロック建396㎡	
	車庫庫新築 (青苗)	
	軽量ブロック建198㎡	
	車庫新築 (宮津)	
	軽量ブロック建52.8㎡	
	防火貯水槽新設 (青苗)	
	貯水量 40㎡ 2基	
	消防ポンプ車購入 (奥尻、青苗)	
	4台	
	可搬動力ポンプ購入 (各分団)	
	7台	
	可搬動力ポンプ積載車購入	
7台 (各分団)		
消防無線設備	57,725	
10W超短波陸上無線設備		
固定局 3、移動局 8		
救急車購入 (奥尻)	1台	
1台		
消防事業合計		57,725

海岸保全

事業名	事業の内容	事業費
港湾区域内 海岸保全事業	重圧式護岸	千円
	谷地地区 250m	
	仏沢地区 120m	
漁港区域内 海岸保全事業	穂穂漁港 150m	120,000
	赤石漁港 150m	
	青苗漁港 1,200m	

治山・治水

事業名	事業の内容	事業費
復旧治山事業	山腹 稲穂 70ヶ所	千円
	湯浜 307ヶ	
	松江 39ヶ	
	赤石 165ヶ	
	奥尻 147ヶ	
		1,617,000

事業名	事業の内容	事業費
へき地保健福祉館新築工事	木造モルタル仕上平家建 1棟 198.74㎡	千円 4,573
特別母と子の家新築工事	木造モルタル仕上平家建 1棟 264㎡	6,900
火葬場建設事業	ブロック造平家建 1棟 99.17㎡ 重油バーナ燃焼式伏葬炉 1基	4,400
霊柩車導入事業	マイクロバス改造型車 10人乗 10台	2,500
	社会福祉事業合計	146,293

事業名	事業の内容	事業費
一般海岸保全事業	宮津地区 500m	千円 364,000
	東風泊地区 300m	
	球浦地区 1,200m	
	富士川地区 700m	
	赤石地区 1,200m	
	青苗地区 600m	
	海岸保全事業合計	532,000

医療

事業名	事業の内容	事業費
病院整備事業	町立国保病院建物総改築 (70床) 鉄筋コンクリート2階建 1,900㎡ 集中暖房、衛生給排水、自家発電、テレビレントゲンほか医療機械一式	千円 250,000
	看護婦宿舎 鉄筋コンクリート 1棟 300㎡	
	医師住宅 軽量ブロック平家 1棟 82.5㎡	
	歯科医師誘置対策 医師住宅改良診療室改良 診療機器一式	7,000
	医療事業合計	257,000
	計	5,767,338

今回は「第3. 交通通信の先行的整備の推進」についての根幹事業等をお知らせいたします。

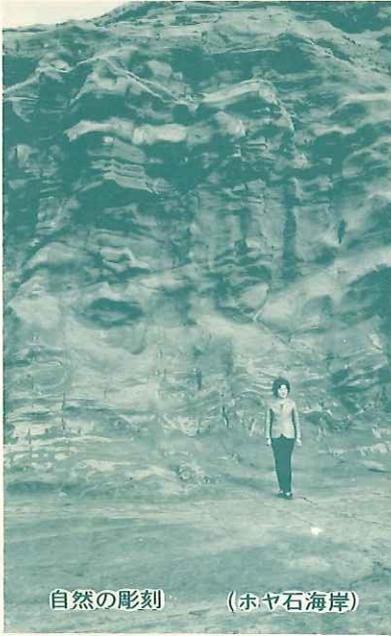
公害

事業名	事業の内容	事業費
公害対策調査事業	公害調査費	千円 1,000
	公害事業合計	1,000

社会福祉

事業名	事業の内容	事業費
養護老人ホーム新築事業	ブロック造り平家建 1棟 745㎡	千円 24,320
老人福祉センター新築事業	ブロック造り平家建 1棟 495.5㎡	16,560
奥尻保育所新築事業	ブロック造り平家建 1棟 600㎡	18,840
青苗保育所新築事業	ブロック造り平家建 1棟 600㎡	18,840
保育所スクールバス導入事業	定員40人乗バス 2台	6,400
南部公園新設事業	4,900㎡	14,700
北部公園新設事業	4,900㎡	14,700
生活館新築事業	木造モルタル仕上平家建 1棟 165.28㎡	4,520
生活館新築事業	木造モルタル仕上平家建 1棟 165.28㎡	4,520
生活館新築事業	木造モルタル仕上平家建 1棟 165.28㎡	4,520

第4回奥尻観光写真コンテスト



自然の彫刻 (ホヤ石海岸)

奥尻島観光を一般に広くアピールするにふさわしい写真を募集致します。カメラご愛好の皆様のおもしろい作品を期待しております。

- ◆テーマ 奥尻島観光の宣伝紹介に適する風景・史跡・風俗・行事等
- ◆サイズ 第一部(白黒の部)……キャビネ以上
第二部(カラーの部)……
フジカラースライド(特に6×6以上を希望)
フジカラープリントキャビネ以上
- ◆応募資格 別にありますのでなたでも自由にご応募下さい。
- ◆締切 昭和四十七年八月三十一日
- ◆入選発表 昭和四十七年九月下旬
北海道新聞紙上及び本人に通知します。
- ◆作品送り先 主催者又は函館写真材料商組合加盟店

◆ 賞
第1部 (白黒の部)

推せん	1点	賞金 10,000円	副賞	青函船舶鉄道管理局々長賞
特選	1点	賞金 5,000円	副賞	東日本海フェリー株式会社々長賞
入選	5点	賞金 1,000円	副賞	富士フィルム株式会社賞 東日本観光株式会社々長賞
佳作	20点		副賞	富士フィルム株式会社賞 東芝写真用品株式会社賞

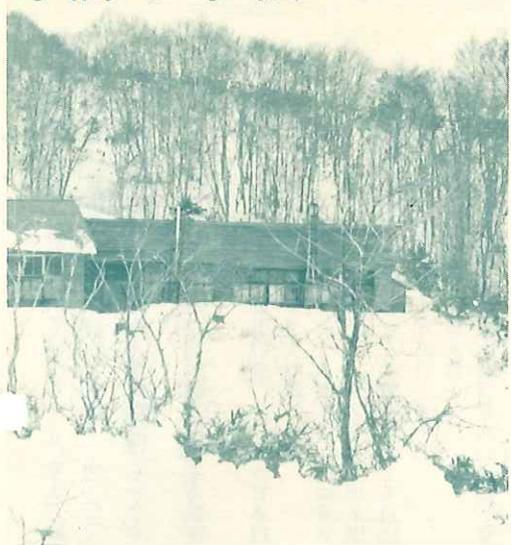
◆ 賞
第2部 (カラーの部)

推せん	1点	賞金 13,000円	副賞	北海道新聞函館支社長賞
特選	1点	賞金 7,000円	副賞	東日本海フェリー株式会社々長賞
入選	5点	賞金 2,000円	副賞	奥尻島観光協会々長賞 東芝写真用品株式会社賞 東日本観光株式会社々長賞 東日本海フェリー株式会社々長賞
佳作	20点		副賞	富士写真フィルム株式会社賞 東芝写真用品株式会社賞

- ◆ 細則
- 各作品ごとに所定の応募票(自作も可)を添付のこと。
 - 応募枚数に制限ありませんが未発表のものに限ります。
 - 入賞作品の著作権は主催者に属し応募作品はお返し致しません。
 - 入賞作品で指定期日までにネガの送付のない時は失格となります。
 - 使用材料は富士写真フィルム株式会社及び東芝写真用品株式会社の製品に限ります。

- 主催 奥尻町・青函船舶鉄道管理局・東日本海フェリー株式会社・北海道新聞函館支社
- 後援 みなみ北海道観光連盟・奥尻島観光協会・東日本観光株式会社
- 協賛 富士写真フィルム株式会社・東芝写真用品株式会社・函館写真材料商組合

球浦小学校



雪にとざされていた永い冬ぐもりからようやくやくぬけ去り、まぶしいばかりの春の陽、雪解けと同時に、卒業式と閉校式を迎えた学校があります。

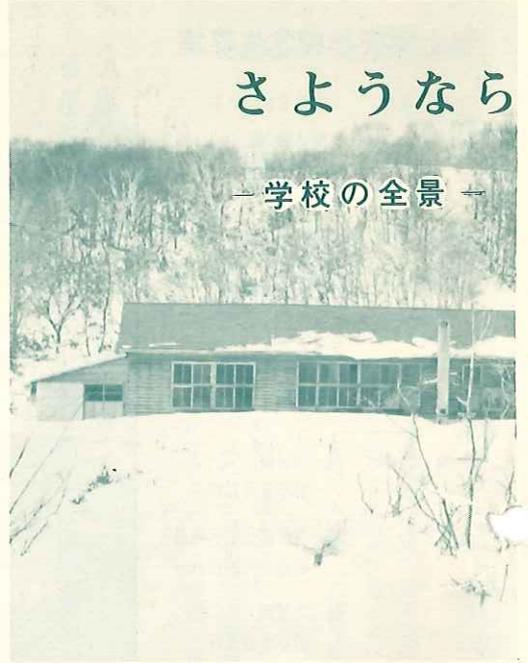
奥尻市街から五・八キロメートル離れた山中高台にある球浦小学校(服部勇校長)は、開拓入植世帯のため、昭和三十三年の秋、十一人の児童で開校したが、ここ数年間の相次ぐ離農で四月から三人に減る見通しとなったため、三月限りで閉校することになったものです。四月から三人は、五・八キ



四十年夏には児童五人が函館札幌間を飛行機で修学旅行、昨秋の全奥尻卓球大会では、参加した三年以上の六人全員そろって上位入賞、さらに珠算では日商連公認検定でこれまでに二級二人を含めた三十六人が合格(三年以上の全員が合格)し、他校から「珠算は球浦小学校を目標に」といわれるまでになるなど、課外教育面での話題も数多いものがありました。

閉校式は2月二十九日(卒業式は午前九時)午後一時から同校集会室でつれましたが、席上で上





さようなら

-学校の全景-

ロメートル離れた奥尻小学校に通学することになっています。多いときは、二十六人が通学したこともある球浦小学校は、これまで三十八人の卒業生を送り出しています。

この間、校舎、集会室、給食準備室、風力発電、公衆電話、グラウンド、水道なども次々と新設されました。

運動会には部落総出での父兄と一しょに走りまわったグラウンドも楽しく遊んだブランコや鉄棒ともわかれをつける。

榎町長「長年辺地の教育に努力され、本当にご苦労でした」と感謝状を贈られた服部勇校長と羽田忠吉教諭は、こもごもに「ロメートルもの風雪に悩まされながらも、元気に学んだ児童の姿、困難を開拓と取り組みながらの父母の協力―すべてが忘れられません」と感激のあいさつ。このあと別れ別れになる八人の児童に記念品が贈られ、全員のお別れパーティーで開校以来十五年間にわたる歴史の幕をここに閉じたのです。

